年金額回復の具体的事例

○平成22年2月15日から19日までに年金額試算を全国の年金事務所で行った増加年金額が大きい10ケースについて取りまとめたもの

番号	年齢	性別	増加年金額 (年額)	年金額(年額)		概要	年金額回復の経緯	(参考)一定の前提での増加総額の機械的計算(※)
				回復前	回復後			
1	73歳	男	832,000円	1,142,600円	1,974,600円	回復前の厚生年金加入期間144月に168月を追加。	○「ねんきん特別便(名寄せ便)」のフォローアップ対象者であるご本人が相談窓口を訪れ、ご本人の申出の会社名、勤務期間により調査したところ、ご本人の申出と一致する厚生年金の記録が判明し、記録を統合した。	約1,960万円
2	78歳	女	825,400円	544,300円	1,369,700円	回復前の厚生年金加入期間0月に163月を追加。(老齢基礎年金受給者)	○「黄色便(旧姓情報等と未統合記録の突き合わせにより氏名・生年月日等が一致した方に送付するお知らせ)」の回答票がご本人から郵送で届き、電話にて厚生年金の期間を確認したところ、ご本人の結婚前(旧姓当時)の厚生年金の記録が判明し、記録を統合した。 ○記録統合前は、国民年金の記録のみで老齢基礎年金を受給していたが、今回判明した厚生年金の記録により老齢厚生年金が受給できることとなった。	約2,360万円
3	故人	男	767,300円	1,619,600円	2,386,900円	回復前の厚生年金加入期間278月に121月を追加。	○ご本人(故人)の死亡により遺族厚生年金を受給されている「ねんきん特別便(名寄せ便)」のフォローアップ対象者であるご本人(故人)の妻に連絡を取ったところ、後日、妻の代理人である家族がご本人の職歴を持参し相談窓口を訪れ、家族が持参した職歴により調査したところ、会社名、勤務期間が一致する厚生年金の記録が判明し、記録を統合した。 ○この厚生年金の記録121月の統合により、ご本人が生前受給されていた旧法老齢年金(厚生年金)の年金額の増加額767,300円(年額)増加し、ご本人の死亡により遺族厚生年金を受給されている妻に未支給分の年金(一時金)が支払われることとなる。 ○また、厚生年金の記録121月が統合されたことで、ご本人の妻が受給されている遺族厚生年金の年金額が291,000円(年額)が増額した。	旧法老齢年金 (未支給分) 約1,450万円 遺族厚生年金 約260万円
4	81歳	女	749,600円	874,300円	1,623,900円	回復前の厚生年金加入期間27月に177月を追加。	○「ねんきん特別便(全員便)」の回答票が社会保険庁業務センターから回付され、回答票に「もれがある」と記載されていた会社名、勤務期間により調査したところ、ご本人の申出とほぼ一致(国民年金と重複する期間が一部有り)する厚生年金の記録が判明し、記録を統合した。	約2,140万円
5	70歳	男	733,700円	261,700円	995,400円	回復前の厚生年金加入期間0月に162月を追加。(老齢基礎年金受給者)	○「ねんきん特別便(全員便)」の回答票で「もれがない」と回答したが実は「もれがあった」とご本人が相談窓口を訪れ、ご本人の申出の会社名、勤務期間により調査したところ会社名、勤務期間は一一致するが氏名が相違(母国の氏名)する基礎年金番号に統合されていない厚生年金の記録が判明し、ご本人に氏名の相違について確認を行い記録を統合した。 ○記録統合前は、国民年金の記録のみの老齢基礎年金の受給権者であるが、今回判明した厚生年金の記録により老齢厚生年金が受給できることとなった。	約1,730万円

6	83歳	男	721,600円	573,800円	1,295,400円	回復前の厚生年金加入期間0月に158月を追加。(老齢基礎年金受給者)	○「黄色便(旧姓情報等と未統合記録の突き合わせにより、氏名、生年月日等が一致した方にお送りするお知らせ)」の回答票をご本人が持参し相談窓口を訪れ、ご本人に思い出していただいた会社名、勤務期間と一致する厚生年金の記録が判明し、記録を統合した。 ○記録統合前は、国民年金の記録のみの老齢基礎年金を受給していたが、今回判明した厚生年金の記録により老齢厚生年金が受給できることとなった。	約1,700万円
7	82歳	男	604,900円	1,641,600円	2,246,500円	回復前の厚生年金加入期間309月に114月を追加。	○「ねんきん特別便(名寄せ便)」の回答票が社会保険業務センターより回付され、ご本人の申出た会社名、勤務期間等により調査したところ、基礎年金番号に統合されていない年金手帳番号の厚生年金の記録(生年月日の一部が相違)が判明し、ご本人に電話連絡で生年月日の相違の確認を行い記録を統合した。	約1,420万円
8	80歳	男	599,500円	2,417,400円	3,016,900円	回復前の厚生年金加入期間65月に57月を追加。	○「ねんきん特別便(名寄せ便)」の回答票に「もれや間違いがある」と記載し相談窓口にご本人が持参した際、ご本人の申出の8つの会社名、勤務期間に基づき調査したところ、基礎年金番号に統合されていない3つの年金手帳番号の厚生年金の記録(生年月日の一部が相違)が判明し、ご本人に生年月日の相違の確認を行い記録を統合した。	約1,410万円
9	73歳	男	567,600円	1,157,400円	1,725,000円	回復前の厚生年金加入期間117月に111月を追加。	○「黄色便(旧姓情報等と未統合記録の突き合わせにより、氏名、生年月日等が一致した方にお送りするお知らせ)」の回答票が社会保険業務センターから回付され、ご本人の申出の会社名、勤務期間により調査したところ、ご本人の申出と一致する厚生年金の記録が判明し、記録を統合した。	約1,330万円
10	79歳	男	543,800円	1,942,700円	2,486,500円	回復前の厚生年金加入期間294月に101月を追加。	○「ねんきん特別便(全員便)」の回答票が社会保険業務センターから回付され、回答票に「もれがある」と記載されていた会社名、所在地、勤務期間により管轄する社会保険事務所に調査を依頼したところ、後日、ご本人の申出と一致する厚生年金の記録が判明したとの回答があり、記録を統合した。	約1,280万円

年金記録が回復した経緯別内訳(今回の10事例)

ねんきん特別便(名寄せ便)	4件(事例 1、3、7、8)
ねんきん特別便(全員便)	3件(事例 4、5、10)
黄色便(旧姓情報等を活用したお知らせ)	3件(事例 2、6、9)
フォローアップ(電話・文書・訪問)対象事案	2件(事例 1、3)

(注1) 本表は、上記期間において全国の年金事務所で行った年金額試算における増加年金額(年額)の上位10ケースについて事例概要、年金額回復の経緯を取りまとめたもの

(注2) ※の「(参考)一定の前提での増加総額の機械的計算」は、基本的に各ケースの受給開始年齢から65歳時点の平均余命(男性+18.6歳、女性+23.6歳)までの期間(この平均余命を超えているケースは現在年齢までの期間、すでに死亡されているケース(未支給分)は死亡時までの期間)について受給すると仮定して機械的に計算した金額であり、実際に支払われる差額ではない(実際には、在職や雇用保険受給による支給停止等や物価スライドがあるが、これらによる支給額の変動は考慮していない)